「全国福祉用具専門相談員協会」が発足！ 会長に山下一平氏

福祉用具専門相談員の職能団体を設立し、都内で設立総会を開催

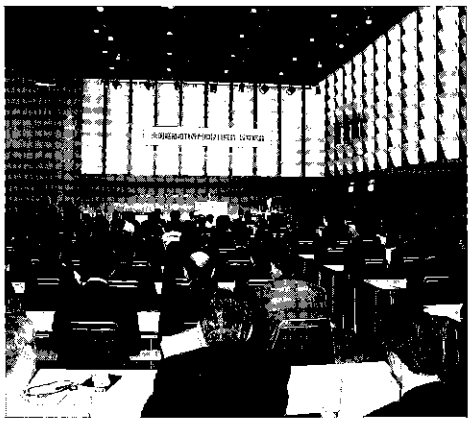
「全国福祉用具専門相談員協会」の設立総会が七月十日、開催され、福祉用具専門相談員の職能団体が発足しました。協会の会長にはヤマシタコーポレーションの山下一平取締役社長が就任され、副会長には（株）エイゼットの畔上加代子代表取締役が就任されました。

福祉用具専門相談員は四十時間の講習を受けるだけで取れた資格だけに、「人により、キャリアによりその能力にかなりの差があり」ます。山下会長も「専門職としてのレベルの底上げがまだまだ。研鑽も集中的に行なう必要があるのでは」と指摘されました。より質の高い福祉用具貸与サービスを実現するためにも相談員全体のレベル向上を目指して協会を立ち上げたとのこと。「福祉用具専門相談員という名前を冠した協会を作ることは、この資格のアピールにもなるし、個々人のモチベーションを上げることにもつながるのでは」と山下会長は期待されます。

将来的には上級資格ともいうべき主任福祉用具専門相談員の創設も検討していきたいということです。

なお、協会の事務局の住所や電話番号など、連絡先は左記の通りです。

全国福祉用具専門相談員協会の設立の趣旨や今後の抱負を語られる山下一平会長。



全国福祉用具専門相談員協会の設立総会。

全国福祉用具専門相談員協会
〒一〇八－〇〇七四 東京都港区高輪三－一九－二〇 高輪OSビル九階
電話：〇三－三四四三－〇〇一一
FAX：〇三－三四四三－八八〇〇

第11回福祉用具国民会議が開催 福祉用具に関して活発な意見交換

市民・国民の視点で福祉用具供給システムについて立場を超えて議論しようと昨年三月に発足した福祉用具国民会議が十一回目の会議を開催しました。

今回はまず（株）矢野経済研究所の三王巧二郎氏が介護保険ビジネス市場の変革と今後の方向性についての報告がありました。

続いて、テクノエイド協会の本村光節事務局長が福祉用具プランナーの今後の展開について話されました。

さらに「例外規定」を活用して二カ月間で四十台以上のベッドを納入した（株）カクイックスウィングの事例と成功の秘訣についての話がありました。

また、発足したばかりの全国福祉用具福祉用具専門相談員協会の山下一平会長から挨拶があり、山本一志事務局長が今後の予定について述べられました。

活発な質問や議論が行なわれ、盛況のうちに幕を閉じました。

●これからの福祉と医療を実践する会 第三〇四回例会
▼日時：8月25日 14時～16時半
▼テーマ：医療保険の現状と行方「次期改定は高齢者医療と医療の本質が問われる」
▼講師：原徳壽（厚労省保険局医療課長）
▼会場：在日本韓国YMCAアジア青少年センター（東京都千代田区猿楽町）
▼参加費：一万円（会員：五千円）
▼申込先：電話〇三－五八三四－一四六一、FAX〇三－五八三四－一四六一

●作業療法体験デー
▼日時：8月26日 14時～16時
▼会場：千葉ペリエホール（JR千葉駅ビル・ファッション館五階）
▼内容：福祉機器、自助具、作業療法作品、ビデオ、パネルなどの展示。高齢者・片麻痺体験、評価体験、作業活動体験。進路相談、リハビリ相談。
▼入場料：無料 ※事前申込はなし。
▼問い合わせ先：千葉作業療法士会（電話〇四七－四五八－四三五一）
▼URL：http://www.chiba-ot.ne.jp/

●老年行動科学講座（全六回）・第一回「感じる力を養う」
▼日時：8月26日・10時半～16時15分
▼会場：明治学院大学白金キャンパス
▼内容：心のメカニズム「認知症の心の世界・記憶と認知・ストレス」
▼講師：佐藤眞一（明治学院大学教授）
▼参加費：九千円（学生七千円、団体一万千円）、会員八千円（学生六千五百円、団体九千円）※当日参加は千円増し
▼主催：日本老年行動科学会
▼連絡先：東京都杉並区堀ノ内一－二四－一 学会事務局（電話&FAX〇三－五九四一－五二七〇）